● **Power LEDは点灯していますか？**
Power LEDが点灯していない場合は、ACアダプターのDCプラグやACプラグが正しく接続されているかどうか確認してください。なお、本製品には電源スイッチはついていません。

● **Link/Receive LEDは点灯していますか？**
Link/Receive LEDは接続先の機器と正しく接続されている場合に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

・接続先の機器に電源が入っているかを確認してください。また、端末に取り付けられているネットワークインターフェースカードに障害がないか、ネットワークインターフェースカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。
・LANケーブルが正しく接続されているか、正しいLANケーブルを使用しているか、LANケーブルが断線していないかなどを確認してください。また、ケーブルの長さが制限を超えていないか確認してください。本製品と端末を接続するケーブルの長さ、本製品とリピータやスイッチを接続するケーブルの長さはすべて100m以内です。
・HUB/PC切替スイッチを確認してください。本製品のポート8を使用して、リピータやスイッチとカスケード接続する場合には、本製品のHUB/PC切替スイッチを「HUB」(MDI)に設定してください。
本製品のポート８同士をカスケード接続する場合は、一方を「HUB」(MDI)に、もう一方を「PC」(MDI-X)に設定します。
・特定のポートが故障している可能性もあります。
ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。
・リピータ（＝ハブ）の数が制限を超えていないかを確認してください。カスケード接続ができるハブの台数は、最大４台までとされています。本書の「カスケード接続」の項を参考にして、適切な接続を行ってください。

製品仕様

サポート規格	
	IEEE802.3（10BASE-T/2/5）
電源部(本体)	
定格入力電圧	AC100V（50/60Hz）
入力電圧範囲	AC90～132V
最大消費電力	15W
環境条件	
動作時温度/湿度	0～40℃ / 80%以下(ただし結露なきこと)
保管時温度/湿度	−20～60℃ / 95%以下(ただし結露なきこと)
外形寸法(本体のみ)	
	210(W)×107(D)×38(H)mm(突起部を含まず)
重量	
	680g(本体のみ)

保証と修理について

■保証について

別紙の「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用ください。無条件で本製品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。本製品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず本書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトの上、必要事項を記入されたものと保証書および購入日の証明できるもののコピー（レシート等可）を添付し、製品（付属品一式と共に）をご購入された販売店へお持ちください。修理をご依頼する際は、以下の点にご注意ください。

※弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。

●修理期間中の代替機等は弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。
●保証書に販売店の捺印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
●製品購入日の証明ができない場合は、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
●修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入の販売店へお持ちください。下記のホームページに、有償修理価格が記載されておりますので、ご覧ください。

http://www.corega.co.jp/repair/

製品に関するご質問

製品のご質問はコレガサポートセンターまでお問い合わせください。お問い合わせの際には弊社ホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、メール、FAX、電話でのいずれかでお問い合わせください。

■お問い合わせ先

Mailサポート　：下記のURLからユーザー登録した後、お問い合わせください。

http://www.corega.co.jp/faq

FAX/TEL　：FAX 045-476-6294　TEL 03-3797-1085
受付時間　：10:00～12:00、13:00～18:00
月～金（祝・祭日を除く）
必要事項　：ご質問の前に、あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。

●製品名
●シリアル番号　(S/N)、リビジョンコード（Rev.）
●お名前、フリガナ
●連絡先電話番号、FAX番号
●購入店
●購入日付
●お使いのパソコンの機種
● OS
●お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）
●ネットワーク構成

弊社ホームページのご案内

弊社ホームページでは、各種商品の最新の情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本製品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

コレガホームページ　http://www.corega.co.jp

おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
・本製品の仕様またはそのご使用により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

2004年6月　Rev.A　初版

PN　Y613-03964-00 Rev.A

corega

取扱説明書

HUB-8B

10M Ethernet HUB

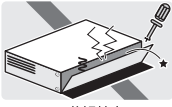
このたびは、**corega HUB-8B**をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書をお読みになり、正しい設置を行ってください。また、お読みになった後も、大切に保管してください。

安全のために

必ずお守りください

警告　下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。

分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。

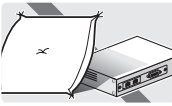
雷のときはさわらない

異物は入れない　水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。

異物厳禁

通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。

ふさがない

湿気やほこりの多いところ油煙や湯気のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となります。

設置場所注意

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください

・直射日光の当たる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（製品仕様に記載された環境でご使用ください）
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
・腐食性ガスの発生する場所

静電気注意

本製品は静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電気破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、部品などに素手で触れないでください。

触らない

取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

本製品は、一般使用を目的とした商品です

本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や設計、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤作動防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

本製品の使用は、日本国内で

本製品は日本国内仕様となっておりますので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

国内で使用

ケースを外さないでください

本製品の内部には高電圧の箇所が存在します。感電の恐れがありますので、絶対にケースを外さないでください。ユーザーに必要な部品は内包されていません。

正しい電源ケーブルおよびコンセントを使用してください

本製品に電源を供給する場合には、必ず電源電圧に適合した電源ケーブルをご使用ください。日本国内などで100Vでご使用になる場合は、本製品に付属の電源ケーブルをご使用ください。不適切な電源ケーブルや電源コンセントをご使用になった場合にお客様が被った損害についてはいかなる責任も負いかねます。

お手入れについて

機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

ぬらすな

中性洗剤使用

堅く絞る

お手入れには次のものは使わないでください

石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください）

シンナー類禁止

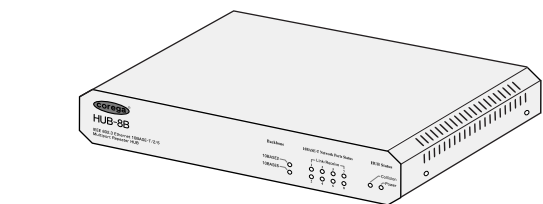
この製品について

corega HUB-8Bは、10BASE-Tインターフェイスを８ポート装備したイーサネット・ハブです。
バックボーンポートとして、10BASE5(AUI)と10BASE2(BNC)インターフェースを各１ポート備え、すべて同時に使用することができるため、多様なネットワーク環境に対応します。

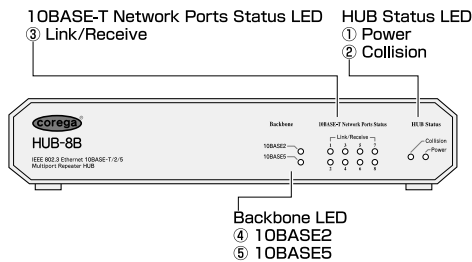
◇コンパクトなボディサイズ
◇AC電源ユニットを内蔵
◇カスケード接続専用のポートを１ポート装備
◇ネットワークや機器の状態が一目で分かるLED表示機能

同梱品一覧

最初に下記の付属品が入っていることをご確認ください。万が一、欠品や不良品などがございましたら、お買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

□　corega HUB-8B　本体

□　電源ケーブル
□　取扱説明書(本書)
□　製品保証書

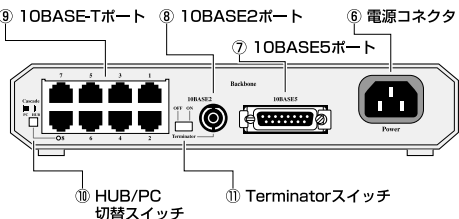
本製品を故障などで移送する場合、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包することをお勧めします。再梱包のために、本製品が納められていた梱包の箱、緩衝材などは、捨てずに保管しておいてください。

各部の名称と機能

① Power(緑)
電源が正しく供給されているときに点灯します。

② Collision(橙)
コリジョンが発生した場合に点灯します。

③ Link/Receive（緑）
10BASE-Tポートが正常にリンクされ、相互に通信が可能な状態のときに点灯します。また、10BASE-Tポートでパケットが正しく受信されているときに点滅します。

④ 10BASE2（緑）
10BASE2(BNC)ポートでパケットが正しく受信されているときに点灯します。

⑤ 10BASE5（緑）
10BASE5(AUI)ポートでパケットが正しく受信されているときに点灯します。

⑥電源コネクタ
電源ケーブルを接続し、電源を入れるためのコネクタです。

⑦ 10BASE5(AUI)ポート
10BASE5のトランシーバーケーブル（AUIケーブル）を接続するためのコネクタです。

⑧ 10BASE2(BNC)ポート
10BASE2のシンワイヤーケーブル（細径同軸ケーブル）を接続するためのコネクタです。

⑨ 10BASE-T ポート
10BASE-TのLANケーブル（UTPケーブル：シールドなしツイストペアケーブル）を接続するためのコネクタです。

⑩ HUB/PC 切替スイッチ
ポート8をカスケード接続用ポートとして使用するか、通常の10BASE-Tポートとして使用するかを設定するためのスイッチです。
・HUB ▬（スイッチが押し込まれた状態）
カスケード接続をするときのカスケードポート(MDI)として使用します。
・PC ▙（スイッチが飛び出している状態）
通常の 10BASE-T ポート(MDI-X)として使用します。

⑪ Terminator スイッチ
10BASE2 ポートの使用 / 未使用にあわせて設定します。
・ON（右）
10BASE2 ポートを使用しない場合は「ON」に設定します。
・OFF（左）
10BASE2ポートを使用する場合は「OFF」に設定し、T型バルブを用いて50Ωのターミネーターまたはシンワイヤーケーブルを接続します。
シンワイヤーケーブルの片端は、必ず50Ωのターミネーターで終端させてから、T型バルブに接続してください。

使用方法

●設置場所

注意　設置場所については、本書の「安全のために」をよく読んで、正しい場所に設置してください。

・直射日光の当たる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
・傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。
・充分な換気ができるように、本体側面をふさがないように設置してください。
・テレビ、ラジオ、無線機などの側に設置しないでください。

●電源

本製品を使用する場合は、同梱の電源ケーブルを使用してください。

指定された電源、電圧以外(製品仕様「電源部」参照)で使用しないでください。不適切な電源ケーブルや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。

●接続方法

すべてのケーブルが機器間を接続するために適切な長さであることを確認します。ケーブルの最長距離については、次の表を参考にしてください。

	ケーブルの種類	ケーブルの最長距離
10BASE-T	LANケーブル（カテゴリー3以上）	100m
10BASE2	シンワイヤーケーブル（5mm 径）	185m
10BASE5（幹線）	イエローケーブル（12mm 径）	500m
10BASE5（支線）	トランシーバー（AUI）ケーブル	50m

1. 本体背面の 10BASE-T コネクタに LAN ケーブルを接続します。

2. ネットワークに接続する端末に、10BASE-Tネットワークインターフェースカードが正しく取り付けられていることを確認して、LANケーブルのもう一方を端末のネットワークインターフェースカードに接続します。

3. 10BASE2 をバックボーンとする場合は、本体背面の 10BASE2 ポートにT型バルブを使ったシンワイヤーケーブルを接続します。このとき、Terminatorスイッチを「OFF」に設定してください。
10BASE5 をバックボーンとする場合は、本体背面の 10BASE5 ポートにトランシーバーケーブル（AUI ケーブル）を用いてトランシーバを接続します。

4. 電源ケーブルのソケット側を本体背面の電源コネクタに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込みます。本体前面 HUB Status LED の Power LED（緑）が点灯したことを確認します。
LANケーブルが正しく接続されていれば、接続したポートのLink/Receive LED（緑）が点灯します。

●起動と停止

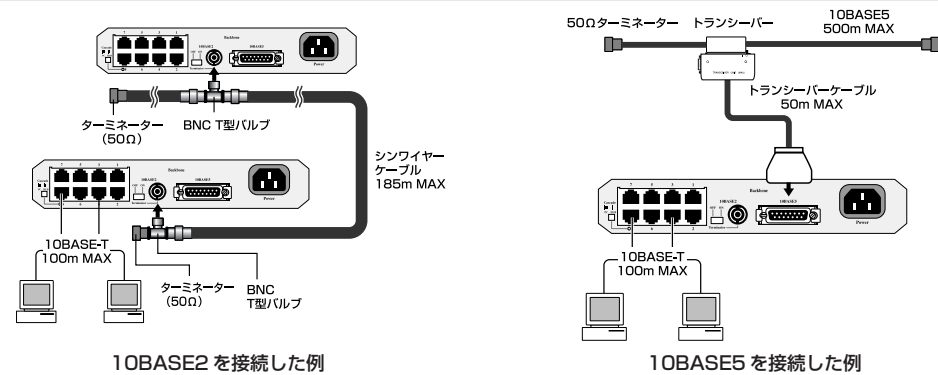
電源ケーブルのソケット側を本体背面の電源コネクタに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込むと起動します。
電源ケーブルのプラグ側を電源コンセントから抜くと停止します。

本製品には電源スイッチがありません。電源ケーブルを電源コンセントに接続した時点で電源が入りますので、ご注意ください。また、電源ケーブルのプラグ側を電源コンセントに差し込んだままソケット側を抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。

<ネットワーク構成>

各メディアをネットワークバックボーンとして接続する場合の構成例は次のようになります。

10BASE2 を接続した例

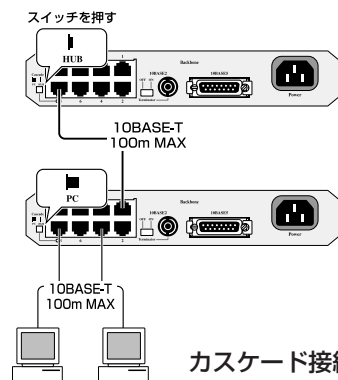
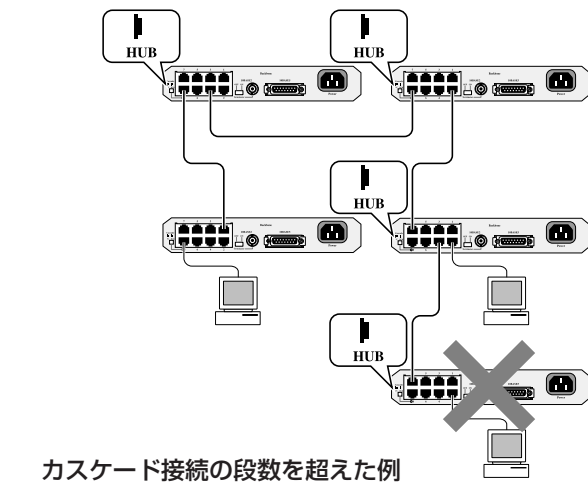
10BASE5 を接続した例

<カスケード接続>

ポート8をカスケード接続用ポートとして使用すると、ケーブルを変更することなく簡単にカスケード接続することができます。

●接続手順

❶ 本体背面のポート８に LAN ケーブル（ストレートタイプ）を接続します。
❷ HUB/PC 切替スイッチを「HUB」(MDI)に設定します。
❸ LAN ケーブル（ストレートタイプ）のもう一方の端を、接続先の機器の通常の10BASE-T ポートに接続します。接続先が同一製品のポート８の場合は、接続先の HUB/PC 切替スイッチは「PC」(MDI-X)に設定します。

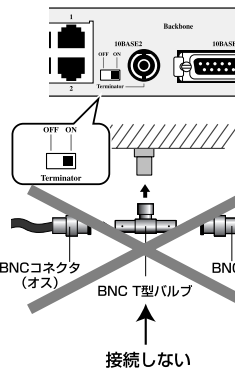
カスケード接続の例

リピータ（＝ハブ）のカスケード接続は、最大４台までとされています（これは通信が正常に行われるためのルールで、IEEE802.3によって規定されています）。下図のように５台以上のハブをカスケード接続しないでください。
ポートの数を増やすためにカスケード接続をする場合は、スター型の構成にすることをおすすめします。

カスケード接続の段数を超えた例

トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな？」と思われる前に、以下のことを確認してください。

● Terminator スイッチは正しく設定されていますか？
シンワイヤーケーブルの両端に10BASE2用ターミネーターが正しく接続されているかどうか、また、両端のターミネーター以外に余計なターミネーターが接続されていないかどうかを確認してください。
Terminatorスイッチを「ON」に設定した場合は、10BASE2ポートには何も接続しないでください。
10BASE2ポートにT型バルブを用いて50Ωのターミネーターまたはシンワイヤーケーブルを接続する場合は、Terminatorスイッチを「OFF」に設定し、接続してください。シンワイヤーケーブルの片端は、必ず50Ωのターミネーターで終端させてからT型バルブに接続してください。

10BASE2ポートを使用しない場合

10BASE2ポートを使用する場合

10BASE2 ポートを使用した接続例